

# (社) 日本原子力学会 第1回 技術士制度・試験講習会 レジюме

日時 平成23年2月19日(土) 13:00~17:00

場所 東京大学本郷キャンパス 工学部11号館講堂

主催 (社)日本原子力学会、 東京大学大学院 工学研究科 原子力国際専攻

参加者 13名(受講者)、12名(講師)

平成19年度の試験制度改訂から5年目を迎え、原子力・放射線部門の合格率も平成21年度の二次試験合格者が21%にまで低下しています。これは「応用能力」、「論理的考察力」、「課題解決能力」を要求する出題となり、年度を重ねるごとに難易度が高くなってきていること、口頭試験前に技術的体験論文を提出することという高度な試験内容に多くの受験者が苦慮していることが要因であると考えられます。

そこで、技術士第一次・第二次試験にチャレンジされる受験者を主な対象として、試験制度を理解し、その対策を立てる一助としていただくために、今回の講習会が企画され、有志が講師として参加しました。第1回目でありながら、二次試験受験予定者13名が参加し、熱心に講習を受けていただきました。当日の概要を以下に報告します。

## 1. 講習会開催にあたって

日本原子力学会の澤田副会長から高い技術者としての見識と技術者倫理への取り組みの観点で技術士制度への期待のご挨拶をいただいた。

続いて、東京大学、高橋教授から、グローバルな研究の展開を視野においた、最近の大学の取り組みなどについて、ご紹介いただいた。



## 2. 技術士制度の紹介：桑江氏

技術士法上の技術士の義務及び責務の解説からはじまり、業務独占資格ではないが名称独占であり、技術士法に適う限り技術士を名乗って様々なことを実践できるという思いも含め、技術士制度の紹介を行った。

## 3. 技術士試験（第一次試験・第二次試験）の紹介：市川氏

過去の出題傾向の体系的な分析や受験手続を含め、試験制度について詳細な解説を行った。

## 4. 技術士試験への心構え・体験談：鈴木氏、内田氏

今回の参加者が二次試験受験予定者であることを踏まえ、鈴木氏からは、米国チャレンジャー号打ち上げ失敗の事例なども交え、分かりやすく技術者倫理の問題や技術士を志した背景などについての解説があった。

内田氏からは、二次試験突破を重点に、受験申込書記入段階から始まる、筆記試験及び技術的体験論文の事前対策、さらには、試験当日の筆記具の選択や答案用紙の埋め方に至るノウハウも含めた力のこもった受験対策指導を行った。



## 5. 日本原子力研究開発機構講習会の紹介：栗原氏

JAEAで5月に開催する、一次試験、二次試験向けの「技術士試験準備講習会」の詳細な内容について紹介があった。

## 6. 全体質問：コーディネーター：桑江氏、質問対応者：

小丸、栗原、白川、鈴木、高橋（一）各氏

ここまでの講演を踏まえ、制度及び試験全般について、会場からの質問を受け付け、各幹事が自らの体験を交え、一つ一つ具体的に対応した。会場から出された質問は以下の内容であった。



① ずばり、二次試験にはどのような傾向の問題が出ると予想しているか。

② 設計と建設を二次試験の選択科目に選ぶと考えているが、筆記試験の範囲と技術的体験論文に記載する主な内容が必ずしも一致しない点で悩んでいる。

③実務経験期間が不足しており、一次試験には合格しているものの、二次試験を受験する資格要件を満たしていない。技術士補として登録したいと考えているが、社内外を含めて、登録と具体的な技術指導の内容を教えてください。

④技術士制度活用の解説があったが、具体的な制度化の方向性について教えてください。

⑤JAEAの講習会で耐震・安全解析がカリキュラムに組み入れられている背景には、その分野の問題が頻出するという見方をしているのか。

⑥原子力をとりまく海外の動向は試験準備としてどの程度、情報を把握しておくべきか。



## 7. 主催者ご挨拶

ここで、主催者を代表し、日本原子力学会 原子力教育・研究特別専門委員会主査の工藤九州大学教授から、技術士の制度発足以降、「原子力eye」の技術士試験に関する解説をはじめ、学会と技術士会は密接に連携をとり、受験者増加に努めてきた、とのご挨拶をいただいた。なお、受講者全員に、今後の受験対策にも役立つ「原子力がひらく世紀」が贈呈された。



## 8. 個別質問：参加者全員

(1)概要質問、(2)一次試験・若年層向け、(3)設計・建設、(4)運転・保守、(5)核燃料サイクル、(6)放射線利用、(7)放射線防護の各分野別に各幹事にて回答担当者を決め、ブースを設け、全体質問の場では質問しにくい個別相談の場を設けた。受講者全員が各ブースに分かれ、技術士の制度、受験の心構え、試験対策など全般について、終了時間ぎりぎりまで、熱心に質疑が行われ、担当した各幹事が丁寧に対応した。

そのなかから主な質問・疑問点として出されたものは以下のとおり。

○概要質問ブース：全体質問②と類似の疑問点だが、本来、原子炉の計測設備のシステム設計業務に従事してきた期間が長いが、最近では再処理施設の建設に係わってきた。技術的体験論文は、その内容をまとめようと考えている。技術的体験論文は自分が専門とする長期間関わってきた分野を選ぶべきか、あるいは、最近の業務に焦点をあてるべきか。また、そこで選んだ分野と筆記試験の選択科目が必ずしも一致しないことで迷っている。

○若年層向けブース：受験資格としての経験年数には達しているが、二次試験突破のために、修習技術者として研鑽を積む必要があるように感じているが、経験者としてどう思うかとの相談があった。

○放射線防護ブース：現場放射線管理に永年携わってきた方から、同様の経験の方が受験されているかどうか、また業務経験の整理の仕方などの相談があった。



以上

(社) 日本原子力学会 第1回 技術士制度・試験講習会プログラム 13:00~17:00

司会：中野智仁

### 1. 講習会開催にあたって：

①技術士資格取得の勧め、原子力学会における技術士制度への期待：澤田隆（日本原子力学会 副会長）

②学生への技術士資格取得に向けたメッセージ：

高橋浩之（東京大学大学院工学系研究科 原子力国際専攻 教授）

### 2. 技術士制度の紹介：桑江良明

### 3. 技術士試験（第一次試験・第二次試験）の紹介：市川禎和

### 4. 技術士試験への心構え・体験談

①一次試験向け：鈴木麻純、②二次試験向け：内田剛志

### 5. 日本原子力研究開発機構講習会の紹介：栗原良一

### 6. 全体質問：コーディネーター：桑江良明

・質問対応者：小丸修、栗原良一、白川正広、鈴木麻純、高橋一智

### 7. 主催者ご挨拶：工藤和彦（日本原子力学会 原子力教育・研究特別専門委員会主査、九州大学教授）

### 8. 個別質問、相談コーナー：講師全員で各ブースを分担

（司会・講演者以外の講師：阿部定好、白川正広、高橋一智、林克己、横堀仁）